

安全だより

『超高齢運転社会における安全運転対策』

安全・適正就業委員長 藤田利孝

今では、65歳以上の運転免許者が全体の20%を超える「超高齢運転社会」ともいえる状態に至っています。高齢運転者による重大な交通事故は、認知症などとの関係で、マスコミでも取り扱われる社会的な関心事となっています。

私たちシルバー人材センターの仕事をするにも、自動車はなくてはならない道具です。その道具を使うためにも絶対に安全運転をしなければなりません。常日頃の道具を大切にしなければなりません。

現場(仕事場)に行ったら、第一に仕事仲間と挨拶に始まり、仕事の段取りといくわけです。作業はもちろん「安全第一」です。何が何でも「安全第一」です。

無事故を目指して

全国統一スローガン

「事故防止、急ぐな、
あせるな、気を抜くな」

(平成31年度までの全国統一スローガン)

安全就業をするために

- ①ヘルメットの着用の徹底
- ②高所作業での安全帯の着用
- ③梯子、脚立等の滑り止めの徹底
- ④使用前の道具類の点検
- ⑤就業場所の下見の奨励(指差し確認)

就業前のチェックポイント

- ①服装・履物・保護具は、仕事に適したものを着用しましょう。
- ②準備運動をしましょう。
- ③会員同士の打合せを十分にした上で作業を開始しましょう。
- ④周囲の状況をよく確認して、作業をしましょう。
- ⑤使用する保護具や器具類の確認と点検をしましょう。

発行	公益社団法人 仙北市シルバー人材センター 安全・適正就業委員会 令和元年7月 第39号
----	--

全国SCの重篤事故の推移(就業中・就業途上)

	死亡	入院	合計
28年度	19件	9件	28件
29年度	33件	13件	46件
30年度	43件	10件	53件

平成30年度就業中における重篤事故の分析(全国)

墜落 転落	16件	剪定、伐採中に墜落・転倒
	1件	草のつるに足をひっかけ転落
	1件	草刈り中に斜面から転落
	1件	屋根塗装作業中に転落
	3件	下見・作業前の墜落・転落
転倒	5件	伐採作業中に転倒など
交通事故	4件	しゃがんで作業をしていた会員が死角となり車の下に巻き込まれたなど

当センターの傷害・物損事故の推移

平成30年度 **無事故達成**

高齢者の交通事故防止

- 体力や判断力の低下を認識しましょう。
- ぼんやり運転に注意しましょう。
- 早めのライト点灯と上向きライトのこまめな切替えを徹底しましょう。

熱中症予防のために

草刈り、草むしりの就業依頼が増加しております。会員の皆さん！熱中症対策は万全でしょうか？予防がいちばんです。

- ①水分、塩分、経口補水液をこまめに取る。
- ②休憩時は、風通しの良い日陰などで休む。
- ③服装は、通気性や吸湿性の良いものを身に着ける。
- ④屋外での単独作業の場合は、定期的に連絡をとる。
- ⑤万が一具合が悪くなったら衣服をゆるめ、からだを冷やす。